

学校だより

◇思いやりのある子ども ◇じょうぶな子ども
 ◇よく考える子ども ◇最後までやりぬく子ども

TEL : 0268-22-1904 FAX : 0268-22-2904



2学期の始まりにあたって～始業式校長先生のお話～

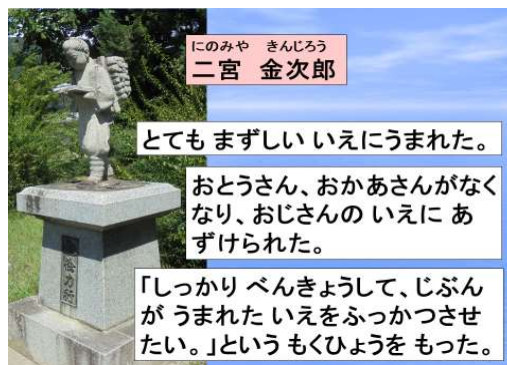
私が夏休み中のことで心に残ったことを二つお話します。

まず一つ目は、オリンピックがあったということです。日本の選手の皆さん、本当によく頑張って、たくさんのメダルを取りました。また、惜しくもメダルに手が届かなかった選手も、最後まであきらめずに頑張っている姿がたくさん見られ、感動しました。私が、すごいなと思ったのが、勝負が終わって勝った人と負けた人が決まったとき、その両方が、相手がんばったことを褒め合っている姿をたくさん見たことです。負けたから悔しい気持ちもあると思いますが、喧嘩をしたり、文句を言ったりしている人を見ませんでした。相手ががんばったことを褒めているのです。また、競争中に転んでしまった相手を助けて、自分の順位が後になってしまうのも構わず、一緒にゴールしている選手の姿も見ました。さすが、オリンピックに出るような選手たちは一流だなと思いました。

もう一つは、「またコロナウイルスがはやってきてしまったこと」です。上田市は、長野県で決めている「感染レベル5」になってしまいました。今までも、新型コロナウイルスの感染予防にがんばってきましたが、今、より一層気を付けていくことが大事です。手洗い、うがい、マスク、三密を避けることなど、担任の先生方のお話をよく聞いて取り組んでください。

さて、今日から2学期が始まります。皆さんは、87日間の2学期、どんなことに挑戦しようと思っていますか？

今日は、二宮金次郎という人の生き方からお話したいと思います。この像、見たことがありますね。この像は、塩尻小学校の正面玄関前、国道から入ったすぐ右側に立っています。この人は、今から230年ほど前、とても貧しい家に生まれたそうです。まだ子どものうちに、お父さん、お母さんが亡くなってしまい、自分が住んでいた家は、人に売られてしまいました。金次郎には、兄弟が何人かいたのですが、ばらばらに親戚の家に預けられます。金次郎は、おじさんの家に預けられることになりました。



おじさんのうちは農家だったので、毎日一生懸命仕事を手伝いました。朝から晩まで働かなくてはならなかったのが、大変な毎日でしたが、金次郎は、「しっかり勉強して、自分が生まれた家を復活させたい。」という目標を持ちがんばりました。

金次郎は、仕事だけでなく、一日の仕事を終わると、眠い目をこすりながら夜遅くまで勉強していましたが、すると、「油がもったいない。」とおじさんに叱られてしまいました。

叱られた金次郎は、どうしようか悩みましたが、どうしても、「しっかり勉強して、自分が生まれた家を復活させたい。」という目標を諦めることができませんでした。そこで知り合いの人から少しの菜種をもらって、土手にまき、世話をしました。すると、次の年の春、金次郎がまいた菜種は、黄色い花を土手いっぱい咲かせました。そこから、撒いた菜種の、何倍もの菜種を取ることができました。そして、菜種を油に取り替えてもらい、その油を使ってまた勉強できるようにしたのです。金次郎は、勉強を続け、20歳のときに、自分の家を作り直すことができたということです。その後も、自分の「贅沢をしないで、少しずつ努力することで、うまく

いく」という経験を生かして、自分のためだけではなく、たくさんの村、615もの村を、豊かになるように助けるような人になったそうです。

金次郎さんは、大事なことを一言で、こう言ったそうです。

「積小為大(せきしょういだい)」

「ちいさな どりよくの つみかさねが、おおきな ことに つながる」という意味です。

皆さんも、2学期の目標を決めましょう。そして、目標に向かって小さな努力を積み重ねましょう。積み重ねることができれば、きっと、大きなことにつながっていくと思います。新型コロナウイルスのこともあり、心配なこともあります。皆さんの努力を、私も、塩尻小学校の先生方も応援します。

一緒に、2学期を、元気に、楽しく、がんばる、いい2学期にしていきたいと思います。終わります。

<新学期の決意作文から>

菅沼太駕君 6年

2学期は、自分の課題だった「時間中に仕上げる」「判断力を上げる」「先のことを見据えて動く」の3つのことを実行できるように頑張り、自分をほめてあげられる学期にしたいと思います。

春原萌花さん 6年

2学期一番の楽しみは修学旅行です。今年はクラスのみならずと過ごせる最後なので、本当に楽しみです。頑張りたいことは、クラスの話合いでの発言です。1学期のめあてにも決めていたのにいざとなると手を上げることができませんでした。2学期はもう一度頑張ってみたいと思います。

第2回避難訓練

地震を想定した避難訓練を行いました。新型コロナウイルス感染レベルが高いため、校庭で集まる時間を短縮し、まとめはテレビ放送で行いました。校長先生から避難の様子について講評を頂いた後、「防災の日」についてお話しがありました。1923年(大正12年)9月1日に「関東大震災」と言われるとても大きな地震が起こり、日本で、10万人以上もの人が亡くなってしまったこと、そのことを忘れず、自分の命を守ることを考えたり、その練習をしたりする日にしようと「防災の日」が設けられたのだそうです。

こうした機会に、子ども達にも、どうすれば自分の命が守れるか、自分で考えてみたり、わからない時は、先生や友達や家の人に聞いてみたりして避難の仕方を確認してほしいと思います。

<4年道徳研究授業、職員ICT研修>

9月2日に、4年1組の研究授業と職員研修を行いました。東信教育事務所の山浦指導主事にお越しいただき、本校の今年度の研究課題である、子ども達の思考を深めるためのICTの活用について、田中教諭が道徳の授業実践を行い、研究チームを中心に授業を参観しました。

また、ICT職員研修では、実践授業で田中教諭が使用した「ジャムボード」(自分の考えや友の考えに対する意見を付箋に書き込み表に貼ることで、クラス全員との意見共有ができる)や「forms」(振り返りを書き込み全員で共有できる)などを実際に操作しながら全員で体験し、授業でどのように使えるかアイデアを出し合いました。



お知らせ

○新型コロナウイルス感染防止のための学校の取り組みを、本校のホームページにアップしました。毎日健康観察カードの記入など、保護者の皆様にもご協力いただきありがとうございます。終息まで気は抜けませんが、子どもたちが一日も早く日常生活を取り戻せるよう、学校でも感染予防に取り組んでいきたいと思っております。ご心配なことがありましたら、学校へお知らせください。